

現在の医薬品の供給状況と 今後の供給状況調査等について

2024年2月22日

日薬連 安定確保委員会
供給不安解消タスクフォース

はじめに

日薬連として、2022年5月より、医薬品の供給状況調査を3か月に1回のペースで実施しその結果を公表していますが、依然として多くの医薬品に供給不安が生じ、医療機関・薬局では、必要な医薬品の入手が困難な状況が続いています。

この状況を改善すべく、2023年4月からは、厚生労働省と連携し、調査頻度を3か月に1回から毎月調査へ変更するとともに、調査項目の見直しと追加を行いました。また、8月調査、9月調査では、より適切な情報を提供するため一部項目を見直し、さらに12月調査では公表情報の追加を行っています。

2024年4月からは、供給情報の速やかな医療機関への共有を目的に、製造販売企業の皆様には、厚生労働省が求める「供給状況報告」と日薬連の「医薬品供給状況にかかる調査」（以下、「供給状況調査」）の2つに対応いただくこととなります。これにともない現在実施している日薬連の「供給状況調査」は、2月度調査より、4月から厚生労働省が求める「供給状況報告」の内容を反映したもので実施実施させていただきます。

本資料では、下記についてご示し致します。

- 日薬連「供給状況調査」
 - －日薬連「供給状況調査」について
 - －日薬連「供給状況調査」の公表内容
- 現在の医薬品の供給状況
 - －現在の医薬品の供給状況
 - －製造販売業者の対応状況
 - －製造販売企業の皆様へのお願い
- 今後の厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」
 - －今後の日薬連「供給状況調査」の調査項目
 - －厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧
 - －厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の運用の違い
- お願い／問い合わせ先

日薬連「供給状況調査」

日薬連「供給状況調査」について

○日薬連「供給状況調査」の目的

- 医療機関・薬局・卸売販売業者の皆様にご確認いただく。
- 製造販売企業が他社品の影響によって「限定出荷」を行っている自社品を「通常出荷」に移行する際の判断情報として用いる。
- 供給状況とその理由を把握することで当局と業界が連携して供給不安解消に向けた対策を検討する。

○2022年5月から調査を開始し、2023年4月から毎月実施

- 毎月末時点における全薬価収載医薬品の供給状況を調査、翌月中旬に公表
6,757成分規格、18,621収載銘柄、対象製造販売承認企業は329社（2024年1月調査）

○供給状況とその理由をより正確に把握するため、随時調査内容を見直し

- 2023年8月調査からは「限定出荷／供給停止の理由」で「その他の理由」を選択した品目について製造販売企業にその理由を選択いただいている（複数選択）（非公開）。
- 2023年9月調査からは「販売中止」を選択した品目については、実際に厚労省に「薬価基準収載品目削除願」を提出した年月を記載いただいている（非公開）。

○調査・公表内容

- 製造販売業者の「出荷対応」の状況
- 限定出荷／出荷停止の理由
- 限定出荷の解除見込み／出荷停止の解消見込み
- 製造販売業者の出荷量の状況
- 製造販売企業の供給情報に関するHPのURL など

○公表方法

- 日薬連ホームページ（<http://www.fpmaj.gr.jp/>）上に一覧で掲載（excel）

日薬連「供給状況調査」公表HP

MEDICAL INFO

医療関係者の皆様へ

[ホーム](#) > [医療関係者の皆様へ](#) > [医薬品供給状況にかかる調査結果](#)

医薬品供給状況にかかる調査結果

2020年12月以降、多くの医薬品の製造が停止し、現在も多くの医薬品で供給不安が続いております。このことから、日薬連ではその解消の一助となるよう、厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課様と連携しながら、製造販売企業に対して卸売販売業者様への医薬品の販売（供給）状況について報告を求め、「医薬品の供給状況にかかる調査」を行い、その結果を一覧で公表させていただいております。

掲載年月	調査について	調査結果	成分規格リスト
2024年1月	pdf	xlsx	xlsx
2023年12月	pdf	xlsx	xlsx
2023年11月	pdf	xlsx	xlsx
2023年10月	pdf	xlsx	xlsx
2023年9月	pdf	xlsx	xlsx
2023年8月	pdf	xlsx	xlsx
2023年7月	pdf	xlsx	xlsx
2023年6月	pdf	xlsx	xlsx
2023年5月	pdf	xlsx	-

日薬連「供給状況調査」の公表内容（1）

- 医療機関・薬局・卸売販売業者の皆様には、excel一覧の「成分」、「規格」、「製造販売承認企業」、「製品名」を選択いただくことで、確認したい医薬品の供給状況をご確認いただけます。
- 製造販売業者の皆様には、他社品の影響によって限定出荷を行っている自社品の「成分」、「規格」を選択いただくことで、通常出荷移行の判断情報としてご活用いただけます。

① 「成分」、「規格」、「製造販売承認企業」、「製品名」を選択



② 各医薬品の調査・公表情報を確認

薬剤区分	成分	規格	製造販売承認企業	製品名	製品区分	製造販売業者の出荷量の状況	製造販売業者の対応状況	前回調査からの対応状況の変更あり	限定出荷の解除見込み 出荷停止の解除見込み	限定出荷の解除見込み 販売中止品の在庫消尽時期	限定出荷/出荷停止の理由	情報更新日	当月掲載 情報確認 済み
内用薬	d1-イソプレナリン塩酸塩	15mg1錠	興和	プロタノールS錠15mg		A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -			2023年8月2日	○
内用薬	d1-イソプレナリン塩酸塩	7.5mg1カプセル	科研	イソメニールカプセル7.5mg	先発品	A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -			2023年8月7日	○
内用薬	d1-メチルエフェドリン塩酸塩	10%1g	ニプロESファーマ	メチエフ散10%		A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -			2023年5月12日	○
内用薬	d1-メチルエフェドリン塩酸塩	10%1g	扶桑	メチルエフェドリン散10%「フソー」		Aプラス, 出荷量増加	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年5月8日	○
内用薬	d1-メチルエフェドリン塩酸塩	10%1g	丸石	d1-メチルエフェドリン塩酸塩散10%「マルイシ」		Aプラス, 出荷量増加	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年4月28日	○
内用薬	d1-メチルエフェドリン塩酸塩	10%1g	中北	d1-メチルエフェドリン塩酸塩散10%「メタル」		A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -			-	○
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.04%10mL	高田	ボララミンシロップ0.04%	準先発品	A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年6月1日	○
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.04%10mL	東和薬品	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩シロップ0.04%「トーフ」	後発品	B, 出荷量減少	②限定出荷（自社の事情）	○	ウ, 未定		1, 需要増	2023年7月27日	○
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.04%10mL	鶴原	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩シロップ0.04%「ツルハラ」	後発品								
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.04%10mL	日新製薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩シロップ0.04%「日新」	後発品	Aプラス, 出荷量増加	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年5月12日	○
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.2%1g	高田	ボララミンドライシロップ0.2%		B, 出荷量減少	②限定出荷（自社の事情）		ア, あり	2023年8月頃見込	8, その他	2023年8月1日	○
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	1%1g	高田	ボララミン散1%		A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年6月1日	○
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	2mg1錠	高田	ボララミン錠2mg		A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年6月1日	○
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	2mg1錠	武田テバファーマ	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩錠2mg「武田テバ」	後発品	Aプラス, 出荷量増加	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年7月6日	○
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	6mg1錠	武田テバファーマ	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩錠6mg「武田テバ」	後発品	Aプラス, 出荷量増加	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年7月6日	○
内用薬	D-ソルビトール	65%10mL	丸石	D-ソルビトール内用液65%「マルイシ」		Aプラス, 出荷量増加	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年4月28日	○
内用薬	D-ソルビトール	75%10mL	興和	D-ソルビトール経口液75%「コーブ」		A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -			2023年8月2日	○
内用薬	L-アスパラギン酸カリウム	300mg1錠	ニプロESファーマ	アスパラギン酸錠300mg		A, 出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）		ウ, 未定	未定	1, 需要増	2023年5月12日	○
内用薬	L-アスパラギン酸カリウム	300mg1錠	共和薬品	L-アスパラギン酸K錠300mg「アメル」	後発品	C, 出荷停止	⑤供給停止		ウ, 未定		8, その他	2023年8月7日	○
内用薬	L-アスパラギン酸カリウム	50%1g	ニプロESファーマ	アスパラギン酸50%		A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定	未定	1, 需要増	2023年5月12日	○
内用薬	L-アスパラギン酸カリウム・L-アスパラギン酸マグネシウム	(150mg)1錠	田中製薬	アスパラギン酸錠150mg		A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年4月30日	○
内用薬	L-アスパラギン酸カルシウム水和物	1錠	ニプロESファーマ	アスパラギン酸錠200		A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -			2023年5月12日	○
内用薬	L-アスパラギン酸カルシウム水和物	1錠	後発品	L-アスパラギン酸Ca錠200mg「サワイ」	後発品	B, 出荷量減少	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年8月9日	○
内用薬	L-アスパラギン酸カルシウム水和物	1錠	後発品	L-アスパラギン酸Ca錠200mg「トーフ」	後発品	A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年4月3日	○
内用薬	L-アルギニン・L-アルギニン塩酸塩	250mg1錠	E Aファーマ	アルギニン配合顆粒	先発品	A, 出荷量通常	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年8月7日	○
内用薬	L-エチルシステイン塩酸塩	250mg1錠	ニプロESファーマ	チスタニン糖衣錠100mg	先発品	A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定	未定	1, 需要増	2023年5月12日	○
内用薬	L-カルボステイン	250mg1錠	杏林	ムコダイン錠250mg	長期収載品	A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年8月9日	○
内用薬	L-カルボステイン	250mg1錠	沢井	カルボステイン錠250mg「サワイ」	後発品	B, 出荷量減少	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年8月9日	○
内用薬	L-カルボステイン	250mg1錠	東和薬品	カルボステイン錠250mg「トーフ」	後発品	Aプラス, 出荷量増加	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年4月3日	○
内用薬	L-カルボステイン	250mg1錠	武田テバファーマ	カルボステイン錠250mg「テバ」	後発品	A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年7月6日	○
内用薬	L-カルボステイン	250mg1錠	日本ジェネリック	カルボステイン錠250mg「JG」	後発品	A, 出荷量通常	④限定出荷（その他）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年7月6日	○
内用薬	L-カルボステイン	250mg1錠	辰巳	カルボステイン錠250mg「TCCK」	後発品	Aプラス, 出荷量増加	②限定出荷（自社の事情）		ウ, 未定		3, 製造トラブル（製造委託を含む）	2023年5月12日	○
内用薬	L-カルボステイン	250mg1錠	鶴原	カルボステイン錠250mg「ツルハラ」	後発品								
内用薬	L-カルボステイン	250mg1錠	日医工岐阜	カルボステイン錠250mg「NIG」	後発品	A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年7月6日	○
内用薬	L-カルボステイン	5%1mL	杏林	ムコダインシロップ5%	長期収載品	Aプラス, 出荷量増加	③限定出荷（他社品の影響）		ウ, 未定		1, 需要増	2023年8月9日	○
内用薬	L-カルボステイン	5%1mL	高田	カルボステインシロップ5%「タカタ」	後発品	B, 出荷量減少	②限定出荷（自社の事情）		ア, あり	2023年10月頃見込	1, 需要増	2023年7月7日	○
内用薬	L-カルボステイン	5%1mL	大興	カルボステインシロップ5%「JG」	後発品	B, 出荷量減少	③限定出荷（他社品の影響）	○	ウ, 未定		1, 需要増	2023年8月3日	○
内用薬	L-カルボステイン	5%1mL	東和薬品	カルボステインシロップ小児用5%「トーフ」	後発品	B, 出荷量減少	①通常出荷		エ, -		7, -	2023年5月30日	○
内用薬	L-カルボステイン	5%1mL	武田テバファーマ	カルボステインシロップ小児用5%「テバ」	後発品	A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		イ, なし		1, 需要増	2023年7月6日	○
内用薬	L-カルボステイン	5%1mL	鶴原	カルボステインシロップ5%「ツルハラ」	後発品								
内用薬	L-カルボステイン	5%1mL	日医工岐阜	カルボステインシロップ小児用5%「NIG」	後発品	A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		イ, なし		1, 需要増	2023年7月6日	○
内用薬	L-カルボステイン	50%1g	鶴原	カルボステイン細粒50%「ツルハラ」	後発品								
内用薬	L-カルボステイン	50%1g	杏林	ムコダインDS50%	長期収載品	Aプラス, 出荷量増加	③限定出荷（他社品の影響）	○	ウ, 未定		1, 需要増	2023年8月9日	○
内用薬	L-カルボステイン	50%1g	高田	カルボステインDS50%「タカタ」	後発品	A, 出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）		ア, あり	2023年10月頃見込	1, 需要増	2023年7月7日	○

日薬連「供給状況調査」の公表内容（2）

2023年12月調査からは、これまで公表している供給状況調査結果一覧（excel①）に加えて、『各成分規格内の「通常出荷」の品目数（銘柄数）割合』を追加し、各品目の製造販売業者の対応状況を基本にして、公表情報を左から順に並べた一覧（excel②）を公表しています。これより、医療機関・薬局・卸売販売業者の皆様には、これまでより各医薬品の供給状況を確認いただき易くしています。

製品名	製品区分	成分規格内の「通常出荷」の品目数（銘柄数）割合	製造販売業者の対応状況	限定出荷/供給停止の理由	限定出荷の解除見込み 供給停止の解除見込み	限定出荷の解除見込み時期 供給停止の解除見込み時期	製造販売業者の出荷量の状況	情報更新日	前回調査からの対応状況の変更あり	当月掲載情報確認済み
イソメニールカプセル7.5mg	先発品	◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常	2024年1月9日		○
プロタノールS錠15mg		◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常	2024年1月9日		○
メチエフ散10%		△ 通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2024年1月5日		○
メチルエフェドリン散10%「フソー」		△ 通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2023年9月27日		○
d1-メチルエフェドリン塩酸塩散10%「マルイシ」		△ 通常出荷割合20以上50%以下	①通常出荷	7. -	エ. -	-	Aプラス、出荷量増加	2023年4月28日		○
d1-メチルエフェドリン塩酸塩散10%「メタル」		△ 通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2023年11月2日		○
ボラミン散1%		× 通常出荷割合0%	②限定出荷（自社の事情）	8. その他の理由	ウ. 未定	-	B. 出荷量減少	2024年1月11日		○
ボラミン錠2mg		◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常	2023年6月1日		○
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩錠2mg「武田テバ」	後発品	◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	-	Aプラス、出荷量増加	2023年7月6日		○
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩錠2mg「NIG」	後発品	◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	2023/12/6発売	Aプラス、出荷量増加	2023年12月28日	○	○
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6mg「武田テバ」	後発品	× 通常出荷割合0%	②供給停止	6. 薬価削除	エ. -	-	D. 販売中止	2023年11月7日		○
ボラミンシロップ0.04%	準先発品	○ 通常出荷割合50%超100%未満	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常	2023年6月1日		○
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩シロップ0.04%「トーワ」	後発品	○ 通常出荷割合50%超100%未満	②限定出荷（自社の事情）	8. その他の理由	ウ. 未定	-	B. 出荷量減少	2023年4月27日		○
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩シロップ0.04%「ツルハラ」	後発品	○ 通常出荷割合50%超100%未満	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常	2024年1月10日		○
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩シロップ0.04%「日新」	後発品	○ 通常出荷割合50%超100%未満	①通常出荷	7. -	エ. -	-	Aプラス、出荷量増加	2023年5月12日		○
ボラミンドライシロップ0.2%		× 通常出荷割合0%	②限定出荷（自社の事情）	8. その他の理由	ウ. 未定	未定	B. 出荷量減少	2024年1月11日		○
D-ソルビトール内用液6.5%「マルイシ」		◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	-	Aプラス、出荷量増加	2023年4月28日		○
D-ソルビトール経口液7.5%「コーワ」		◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常	2024年1月9日		○
アスバラカリウム散50%		× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	B. 出荷量減少	2024年1月5日		○
アスバラカリウム錠300mg		× 通常出荷割合0%	②限定出荷（自社の事情）	3. 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ. 未定	-	B. 出荷量減少	2024年1月5日		○
L-アスバラギン酸K錠300mg「アメル」	後発品	× 通常出荷割合0%	⑤供給停止	8. その他の理由	ウ. 未定	-	C. 出荷停止	2024年1月9日		○
アスバラ配合錠		◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常	2023年4月30日		○
アスバラ-C A錠200		△ 通常出荷割合20以上50%以下	①通常出荷	7. -	エ. -	-	Aプラス、出荷量増加	2024年1月5日		○
L-アスバラギン酸Ca錠200mg「サワイ」	後発品	△ 通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	A. 出荷量通常	2024年1月9日		○
L-アスバラギン酸Ca錠200mg「トーワ」	後発品	△ 通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	A. 出荷量通常	2023年4月3日		○
アルギU配合顆粒	先発品	◎ 全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常	2024年1月9日		○
チスタニン糖衣錠100mg	先発品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	A. 出荷量通常	2023年9月8日		○
カルボステイン細粒50%「ツルハラ」	後発品	× 通常出荷割合0%	②限定出荷（自社の事情）	2. 原材料調達トラブル	イ. なし	-	A. 出荷量通常	2024年1月10日		○
ムコダイン錠250mg	長期収載品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2024年1月11日		○
カルボステイン錠250mg「サワイ」	後発品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	A. 出荷量通常	2024年1月9日		○
カルボステイン錠250mg「トーワ」	後発品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2023年4月3日		○
カルボステイン錠250mg「テバ」	後発品	× 通常出荷割合0%	⑤供給停止	6. 薬価削除	エ. -	-	D. 販売中止	2023年12月7日		○
カルボステイン錠250mg「JG」	後発品	× 通常出荷割合0%	④限定出荷（その他）	1. 需要増	ウ. 未定	-	B. 出荷量減少	2023年9月6日		○
カルボステイン錠250mg「TCK」	後発品	× 通常出荷割合0%	②限定出荷（自社の事情）	3. 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2023年5月12日		○
カルボステイン錠250mg「ツルハラ」	後発品	× 通常出荷割合0%	②限定出荷（自社の事情）	2. 原材料調達トラブル	イ. なし	-	A. 出荷量通常	2024年1月10日		○
カルボステイン錠250mg「NIG」	後発品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	A. 出荷量通常	2023年12月7日		○
ムコダイン錠500mg	長期収載品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2024年1月11日		○
カルボステイン錠500mg「サワイ」	後発品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2024年1月9日		○
カルボステイン錠500mg「トーワ」	後発品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2023年4月3日		○
カルボステイン錠500mg「JG」	後発品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	B. 出荷量減少	2023年10月10日		○
カルボステイン錠500mg「TCK」	後発品	× 通常出荷割合0%	②限定出荷（自社の事情）	3. 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ. 未定	-	Aプラス、出荷量増加	2023年5月12日		○
カルボステイン錠500mg「ツルハラ」	後発品	× 通常出荷割合0%	⑤供給停止	2. 原材料調達トラブル	イ. なし	-	C. 出荷停止	2024年1月10日		○
カルボステイン錠500mg「NIG」	後発品	× 通常出荷割合0%	③限定出荷（他社品の影響）	1. 需要増	ウ. 未定	-	A. 出荷量通常	2023年12月7日		○

現在の医薬品の供給状況

供給状況の概要（全剤形）

- 全品目では「通常出荷以外」は**25.9%**、後発品では「通常出荷以外」が**35.8%**である。
- 依然として多くの医薬品に供給不安が生じ、医療機関・薬局において必要な医薬品の入手が困難な状況が継続。

製造販売業者の対応状況

製造販売業者の出荷対応の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
通常出荷	13,276	74.1%	2,390	91.7%	1,264	87.0%	5,904	64.2%	3,718	80.1%
通常出荷以外	4,629	25.9%	216	8.3%	189	13.0%	3,299	35.8%	925	19.9%
限定出荷	2,320	13.0%	110	4.2%	141	9.7%	1,634	17.8%	435	9.4%
自社の事情	605	3.4%	45	1.7%	31	2.1%	393	4.3%	136	2.9%
他社品の影響	1,542	8.6%	41	1.6%	105	7.2%	1,160	12.6%	236	5.1%
その他	173	1.0%	24	0.9%	5	0.3%	81	0.9%	63	1.4%
供給停止	2,309	12.9%	106	4.1%	48	3.3%	1,665	18.1%	490	10.6%
合計	17,905	100%	2,606	100%	1,453	100%	9,203	100%	4,643	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
1,449	85.9%	3,832	72.1%	186	97	3,549
237	14.1%	1,481	27.9%	95	22	1,364
152	9.0%	850	16.0%	62	9	779
54	3.2%	223	4.2%	27	2	194
87	5.2%	575	10.8%	35	7	533
11	0.7%	52	1.0%	0	0	52
85	5.0%	631	11.9%	33	13	585
1,686	100%	5,313	100%	281	119	4,913

製造販売業者の出荷量の状況

製造販売業者の出荷量の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
A.プラス,出荷量増加	3,703	20.7%	207	7.9%	199	13.7%	2,770	30.1%	527	11.4%
B.出荷量通常	10,639	59.4%	2,192	84.1%	1,102	75.8%	4,089	44.4%	3,256	70.1%
C.出荷量減少	927	5.2%	85	3.3%	93	6.4%	454	4.9%	295	6.4%
D.出荷停止	766	4.3%	38	1.5%	26	1.8%	411	4.5%	291	6.3%
E.販売中止	1,870	10.4%	84	3.2%	33	2.3%	1,479	16.1%	274	5.9%
合計	17,905	100%	2,606	100%	1,453	100%	9,203	100%	4,643	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
220	13.0%	1,313	24.7%	82	25	1,206
1,234	73.2%	3,007	56.6%	137	75	2,795
133	7.9%	274	5.2%	27	6	241
57	3.4%	187	3.5%	11	1	175
42	2.5%	532	10.0%	24	12	496
1,686	100%	5,313	100%	281	119	4,913

- ※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（17,905品目）について集計
- ※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など
- ※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品
- ※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

(参考) 製造販売業者の対応状況 (全剤形) (「販売中止」品目を除外)

製造販売業者の出荷量の状況の中の「販売中止」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』です。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものは他の品目とは状況が異なりますので、参考として、下記の表ではそれらを除外して集計しています。

製造販売業者		合計										(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
対応状況	出荷量の 状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
		品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比							
通常出荷		13,035	81.3%	2,377	94.3%	1,253	88.2%	5,736	74.3%	3,669	84.0%	1,442	87.7%	3,774	78.9%	186	97	3,491
	出荷量増加	3,038	18.9%	187	7.4%	159	11.2%	2,263	29.3%	429	9.8%	186	11.3%	1,036	21.7%	68	23	945
	出荷量通常	9,468	59.0%	2,128	84.4%	1,036	73.0%	3,274	42.4%	3,030	69.4%	1,162	70.7%	2,606	54.5%	108	69	2,429
	出荷量減少	529	3.3%	62	2.5%	58	4.1%	199	2.6%	210	4.8%	94	5.7%	132	2.8%	10	5	117
限定出荷 (自社の事情)		560	3.5%	44	1.7%	31	2.2%	373	4.8%	112	2.6%	47	2.9%	207	4.3%	25	2	180
	出荷量増加	106	0.7%	9	0.4%	7	0.5%	74	1.0%	16	0.4%	6	0.4%	47	1.0%	6	0	41
	出荷量通常	248	1.5%	18	0.7%	7	0.5%	176	2.3%	47	1.1%	18	1.1%	77	1.6%	10	1	66
	出荷量減少	206	1.3%	17	0.7%	17	1.2%	123	1.6%	49	1.1%	23	1.4%	83	1.7%	9	1	73
限定出荷 (他社品の影響)		1,507	9.4%	40	1.6%	105	7.4%	1,128	14.6%	234	5.4%	87	5.3%	564	11.8%	35	7	522
	出荷量増加	524	3.3%	9	0.4%	31	2.2%	408	5.3%	76	1.7%	28	1.7%	219	4.6%	8	2	209
	出荷量通常	827	5.2%	27	1.1%	58	4.1%	607	7.9%	135	3.1%	44	2.7%	294	6.1%	19	5	270
	出荷量減少	156	1.0%	4	0.2%	16	1.1%	113	1.5%	23	0.5%	15	0.9%	51	1.1%	8	0	43
限定出荷 (その他)		167	1.0%	23	0.9%	5	0.4%	76	1.0%	63	1.4%	11	0.7%	49	1.0%	0	0	49
	出荷量増加	35	0.2%	2	0.1%	2	0.1%	25	0.3%	6	0.1%	0	0.0%	11	0.2%	0	0	11
	出荷量通常	96	0.6%	19	0.8%	1	0.1%	32	0.4%	44	1.0%	10	0.6%	30	0.6%	0	0	30
	出荷量減少	36	0.2%	2	0.1%	2	0.1%	19	0.2%	13	0.3%	1	0.1%	8	0.2%	0	0	8
供給停止		766	4.8%	38	1.5%	26	1.8%	411	5.3%	291	6.7%	57	3.5%	187	3.9%	11	1	175
	出荷停止	766	4.8%	38	1.5%	26	1.8%	411	5.3%	291	6.7%	57	3.5%	187	3.9%	11	1	175
製造販売業者の 出荷量の状況	出荷量増加	3,703	23.1%	207	8.2%	199	14.0%	2,770	35.9%	527	12.1%	220	13.4%	1,313	27.5%	82	25	1,206
	出荷量通常	10,639	66.3%	2,192	86.9%	1,102	77.6%	4,089	52.9%	3,256	74.5%	1,234	75.1%	3,007	62.9%	137	75	2,795
	出荷量減少	927	5.8%	85	3.4%	93	6.5%	454	5.9%	295	6.8%	133	8.1%	274	5.7%	27	6	241
	出荷停止	766	4.8%	38	1.5%	26	1.8%	411	5.3%	291	6.7%	57	3.5%	187	3.9%	11	1	175
	合計	16,035	100%	2,522	100%	1,420	100%	7,724	100%	4,369	100%	1,644	100%	4,781	100%	257	107	4,417

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（17,905品目）から販売中止品目を除外し、製造販売業者の対応状況を集計

※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品

※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

(参考) 剤形別の製造販売業者の対応状況 (「販売中止」品目を除外)

製造販売業者の出荷量の状況の中の「販売中止」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』です。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものは他の品目とは状況が異なりますので、参考として、下記の表ではそれらを除外して集計しています。

内用薬

製造販売業者の 対応状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
通常出荷	8,183	78.4%	933	94.1%	808	85.6%	4,161	72.5%	2,281	82.6%
通常出荷以外	2,257	21.6%	59	5.9%	136	14.4%	1,581	27.5%	481	17.4%
限定出荷	1,626	15.6%	46	4.6%	116	12.3%	1,231	21.4%	233	8.4%
自社の事情	361	3.5%	21	2.1%	20	2.1%	267	4.6%	53	1.9%
他社品の影響	1,147	11.0%	19	1.9%	91	9.6%	900	15.7%	137	5.0%
その他	118	1.1%	6	0.6%	5	0.5%	64	1.1%	43	1.6%
供給停止	631	6.0%	13	1.3%	20	2.1%	350	6.1%	248	9.0%
合計	10,440	100%	992	100%	944	100%	5,742	100%	2,762	100%

外用薬

通常出荷	1,890	89.7%	351	96.7%	199	94.3%	798	84.6%	542	92.0%
通常出荷以外	216	10.3%	12	3.3%	12	5.7%	145	15.4%	47	8.0%
限定出荷	177	8.4%	8	2.2%	8	3.8%	132	14.0%	29	4.9%
自社の事情	43	2.0%	1	0.3%	4	1.9%	30	3.2%	8	1.4%
他社品の影響	126	6.0%	6	1.7%	4	1.9%	98	10.4%	18	3.1%
その他	8	0.4%	1	0.3%	0	0.0%	4	0.4%	3	0.5%
供給停止	39	1.9%	4	1.1%	4	1.9%	13	1.4%	18	3.1%
合計	2,106	100%	363	100%	211	100%	943	100%	589	100%

注射薬

通常出荷	2,962	84.9%	1,093	93.7%	246	92.8%	777	74.8%	846	83.1%
通常出荷以外	527	15.1%	74	6.3%	19	7.2%	262	25.2%	172	16.9%
限定出荷	431	12.4%	53	4.5%	17	6.4%	214	20.6%	147	14.4%
自社の事情	156	4.5%	22	1.9%	7	2.6%	76	7.3%	51	5.0%
他社品の影響	234	6.7%	15	1.3%	10	3.8%	130	12.5%	79	7.8%
その他	41	1.2%	16	1.4%	0	0.0%	8	0.8%	17	1.7%
供給停止	96	2.8%	21	1.8%	2	0.8%	48	4.6%	25	2.5%
合計	3,489	100%	1,167	100%	265	100%	1,039	100%	1,018	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C

713	88.7%	2,151	75.4%	67	38	2,046
91	11.3%	702	24.6%	3	0	699
51	6.3%	571	20.0%	3	0	568
10	1.2%	122	4.3%	3	0	119
39	4.9%	418	14.7%	0	0	418
2	0.2%	31	1.1%	0	0	31
40	5.0%	131	4.6%	0	0	131
804	100%	2,853	100%	70	38	2,745

217	98.6%	321	92.5%	26	8	287
3	1.4%	26	7.5%	0	0	26
3	1.4%	17	4.9%	0	0	17
0	0.0%	7	2.0%	0	0	7
2	0.9%	9	2.6%	0	0	9
1	0.5%	1	0.3%	0	0	1
0	0.0%	9	2.6%	0	0	9
220	100%	347	100%	26	8	313

512	82.6%	1,302	82.4%	93	51	1,158
108	17.4%	279	17.6%	68	10	201
91	14.7%	232	14.7%	57	9	166
37	6.0%	78	4.9%	22	2	54
46	7.4%	137	8.7%	35	7	95
8	1.3%	17	1.1%	0	0	17
17	2.7%	47	3.0%	11	1	35
620	100%	1,581	100%	161	61	1,359

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（17,905品目）から販売中止品目を除外し、製造販売業者の対応状況を剤形別に集計

※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

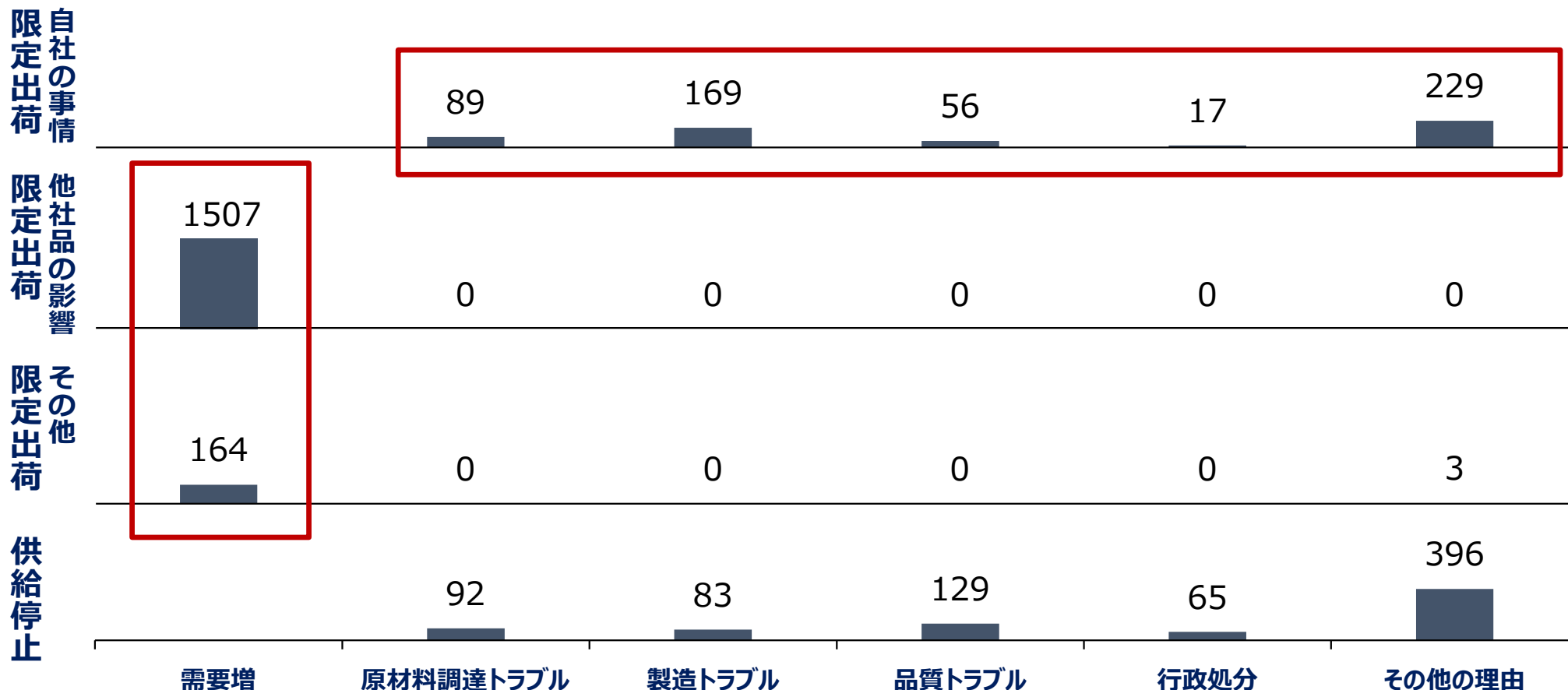
※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品

※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であり、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

(日薬連「医薬品供給状況にかかる調査(2024年1月)」)

製造販売企業の皆様へのお願い

- 自社の事情で「限定出荷」、「供給停止」している品目については、「通常出荷」となるよう一層の取り組みをお願い致します。
- 他社品の影響、その他（季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など）で「限定出荷」している品目については、次頁に示した「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格一覧を参考に増産対応、「限定出荷」解除の検討をお願い致します。



※全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（17,905品目）から販売中止品目を除外し、限定出荷／供給停止となっている品目の理由を集計

【需要増】 同一成分規格の他社品の影響で自社品の需要が増加している場合、季節性製剤や一過性の需要過多などで予測を上回る需要となっている場合 など

【原材料調達トラブル】 原材料（原薬、添加物、容器、包装資材など）の不足や調達遅延が生じている場合 など

【製造トラブル】 工場の設備・機器・システム問題で製造が停止している場合、工場の人員不足による影響で製造遅延が生じている場合 など

【品質トラブル】 品質不良が判明し、出荷に影響が出ている場合、不良品の廃棄や回収を行っている場合 など

【行政処分】 薬機法等関係法令違反により行政処分を受けたことがきっかけとなっている場合

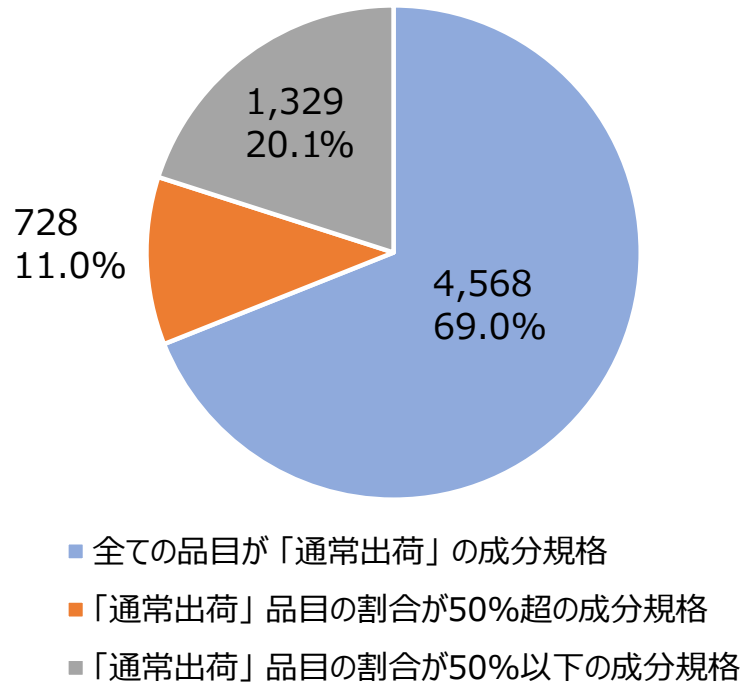
【その他の理由】 上記のいずれでもない理由

（日薬連「医薬品供給状況にかかる調査（2024年1月）」）

成分規格で見た供給状況

- 1月調査の対象となっている全成分規格**6,625**の中、同一成分内において全ての品目が「通常出荷」の成分規格数は**4,568 (69.0%)**である。
- 供給不安の成分規格において、「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格※は**728 (11.0%)**です。これらの成分規格中には、当該成分規格の「限定出荷」品目の「限定出荷」を解除することで成分規格全体が「通常出荷」となる可能性がある成分規格があります。

※「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格（イメージ）



(全体：6,625成分規格)

成分	規格	製品	製品区分	出荷量の状況	製造販売業者の対応状況
●●	5 mg錠	A	長期収載品	A.出荷量通常	①通常出荷
		B	後発品	A.出荷量通常	①通常出荷
		C	後発品	A.出荷量通常	①通常出荷
		D	後発品	A.出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）
		E	後発品	A.出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）

「通常出荷」が過半以上

「限定出荷」となっている品目（D、E）の「限定出荷」を解除することで成分規格全体が「通常出荷」となる可能性あり

製造販売企業の皆様へのお願い

現在、製造販売企業様におかれましては安定確保にご尽力いただいている中ではありますが、依然として多くの医薬品で供給不安が続いています。各社におかれましては、現在の供給不安が解消するよう、引き続き、増産対応、限定出荷の解除、供給状況に関する最新情報の提供に努めていただきますよう改めてお願い致します。

2023年5月調査公表分より、製造販売企業の皆様向けに当該成分規格の「限定出荷」品目の限定出荷を解除することで成分規格全体として通常出荷となる可能性のある成分規格（※）につきまして公表させていただきます。リストのご確認、限定出荷解除のご検討をお願い致します。

※成分規格全体が通常出荷となる可能性のある成分規格リスト（2024年1月）（excel）

令和4年1月25日付厚生労働省医政局経済課長通知（医政経発0125第1号「医療用医薬品の供給不足に係る対応について」の別添1に係る医薬品の供給状況の調査について（調査協力依頼））において、製造販売する医薬品を安定的に供給することは一義的には製造販売企業の責務であることから、該当する成分規格を製造販売する製造販売企業は該当品目の供給の状況について自社のウェブサイト等において公表し、その旨を日薬連に報告するよう要請されております。また日薬連はそれらの情報をとりまとめ公表するよう要請されておりますので、ご協力をお願い致します。

<本調査に関する問い合わせ>

日本製薬団体連合会 担当：沼澤

TEL：03-3527-3154（受付時間 10:00～17:00、土日・祝日を除く）

E-Mail：survey220603@fpmaj.gr.jp

今後の厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」

今後の日薬連「供給状況調査」の調査項目（1）

※主な変更・追加

○製造販売業者の「出荷対応」の状況

- ①. 通常出荷 : 全ての受注に対応できている、かつ十分な在庫量が確保できている状況
- ②. 限定出荷（自社の事情） : 自社の事情により、全ての受注に対応できない状況*¹
- ③. 限定出荷（他社品の影響） : 他社品の影響等にて、全ての受注に対応できない状況
- ④. 限定出荷（その他） : その他の理由*²にて、全ての受注に対応できない状況
- ⑤. 供給停止 : 供給を停止している状況

*1 : 全ての受注に対応できない状況とは、新規顧客の注文や増量受注の辞退など

*2 : その他の理由とは、季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など

○限定出荷／供給停止の理由

1. 需要増 :

同一成分規格の他社品の影響で自社品の需要が増加している場合、
季節性製剤や一過性の需要過多などで予測を上回る需要となっている場合 など

2. 原材料調達上の問題 :

原材料（原薬、**天然由来原料**、**生物由来原料**、添加物、容器、包装資材など）の不足や調達遅延が生じている場合 など

3. 製造トラブル（製造委託を含む） :

工場の設備・機器・システム問題で製造が停止している場合、工場の人員不足による影響で製造遅延が生じている場合など

4. 品質トラブル（製造委託を含む）

品質不良が判明し、出荷に影響が出ている場合、不良品の廃棄や回収を行っている場合 など

5. 行政処分（製造委託を含む） :

薬機法等関係法令違反により行政処分を受けたことがきっかけとなっている場合

6. 薬価削除

※製造販売業者の出荷量の状況で「D. 販売中止」を選択した場合のみ選択可能

7. -

※製造販売業者の対応状況で「①. 通常出荷」を選択した場合

8. その他の理由

1.～7. のいずれにも当てはまらない場合は「8. その他の理由」を選択

※ 「製造トラブル（製造委託を含む）」「品質トラブル（製造委託を含む）」が行政処分に至っている場合は「5.行政処分（製造委託を含む）」を選択

※ 行政処分がきっかけとなって判明した「製造トラブル（製造委託を含む）」「品質トラブル（製造委託を含む）」（製造方法等の変更が必要な場合を含む）の場合も「5.行政処分（製造委託を含む）」を選択

今後の日薬連「供給状況調査」の調査項目（2）

※主な変更・追加

○限定出荷の解除見込み／供給停止の解消見込み

- ア. あり
- イ. なし
- ウ. 未定
- エ. -

○限定出荷の解除見込み時期／供給停止の解消見込み時期／販売中止品目の在庫消尽時期

具体的な時期を記載（例：2024年4月）

○製造販売業者の「出荷量」の状況

- Aプラス. **出荷量増加** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね110%以上の出荷状況
- A. **出荷量通常** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね90%以上110%未満の出荷状況
- B. **出荷量減少** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね90%未満の出荷状況
- C. **出荷停止** : 市場に出荷していない状況
- D. **薬価削除予定** : 「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況
(既に薬価削除の承認が得られている状況)

※ 比較対象期間の出荷量（比較出荷量）は、原則前年度（4月～3月）の月平均出荷量とする。但し、季節性製剤や新規収載品目、直近の期間で急激な需要の増減があった製剤などについては、市場予測による予定出荷量とするなど、各社実態に則して判断してください。

※「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』です。

※これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものは他の品目とは状況が異なるため、2024年2月調査以降は製造販売業者の「出荷対応」の状況では分けて集計します（次頁参照）。

(参考) 製造販売業者の対応状況 (全剤形)

製造販売業者の「出荷量」の状況の中の「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』です。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものは他の品目とは状況が異なりますので、参考として下記の表ではそれらを除外して集計しています。

全体

製造販売業者の「出荷対応」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
	通常出荷	13,276	74.1%	2,390	91.7%	1,264	87.0%	5,904	64.2%	3,718
通常出荷以外	4,629	25.9%	216	8.3%	189	13.0%	3,299	35.8%	925	19.9%
限定出荷	2,320	13.0%	110	4.2%	141	9.7%	1,634	17.8%	435	9.4%
自社の事情	605	3.4%	45	1.7%	31	2.1%	393	4.3%	136	2.9%
他社品の影響	1,542	8.6%	41	1.6%	105	7.2%	1,160	12.6%	236	5.1%
その他	173	1.0%	24	0.9%	5	0.3%	81	0.9%	63	1.4%
供給停止	2,309	12.9%	106	4.1%	48	3.3%	1,665	18.1%	490	10.6%
合計	17,905	100%	2,606	100%	1,453	100%	9,203	100%	4,643	100%

薬価削除予定

通常出荷	13,035	81.3%	2,377	94.3%	1,253	88.2%	5,736	74.3%	3,669	84.0%
通常出荷以外	3,000	18.7%	145	5.7%	167	11.8%	1,988	25.7%	700	16.0%
限定出荷	2,234	13.9%	107	4.2%	141	9.9%	1,577	20.4%	409	9.4%
自社の事情	560	3.5%	44	1.7%	31	2.2%	373	4.8%	112	2.6%
他社品の影響	1,507	9.4%	40	1.6%	105	7.4%	1,128	14.6%	234	5.4%
その他	167	1.0%	23	0.9%	5	0.4%	76	1.0%	63	1.4%
供給停止	766	4.8%	38	1.5%	26	1.8%	411	5.3%	291	6.7%
合計	16,035	100%	2,522	100%	1,420	100%	7,724	100%	4,369	100%

薬価削除予定

通常出荷	241	12.9%	13	15.5%	11	33.3%	168	11.4%	49	17.9%
通常出荷以外	1,629	87.1%	71	84.5%	22	66.7%	1,311	88.6%	225	82.1%
限定出荷	86	4.6%	3	3.6%	0	0.0%	57	3.9%	26	9.5%
自社の事情	45	2.4%	1	1.2%	0	0.0%	20	1.4%	24	8.8%
他社品の影響	35	1.9%	1	1.2%	0	0.0%	32	2.2%	2	0.7%
その他	6	0.3%	1	1.2%	0	0.0%	5	0.3%	0	0.0%
供給停止	1,543	82.5%	68	81.0%	22	66.7%	1,254	84.8%	199	72.6%
合計	1,870	100%	84	100%	33	100%	1,479	100%	274	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
1,449	85.9%	3,832	72.1%	186	97	3,549
237	14.1%	1,481	27.9%	95	22	1,364
152	9.0%	850	16.0%	62	9	779
54	3.2%	223	4.2%	27	2	194
87	5.2%	575	10.8%	35	7	533
11	0.7%	52	1.0%	0	0	52
85	5.0%	631	11.9%	33	13	585
1,686	100%	5,313	100%	281	119	4,913

1,442	87.7%	3,774	78.9%	186	97	3,491
202	12.3%	1,007	21.1%	71	10	926
145	8.8%	820	17.2%	60	9	751
47	2.9%	207	4.3%	25	2	180
87	5.3%	564	11.8%	35	7	522
11	0.7%	49	1.0%	0	0	49
57	3.5%	187	3.9%	11	1	175
1,644	100%	4,781	100%	257	107	4,417

7	16.7%	58	10.9%	0	0	58
35	83.3%	474	89.1%	24	12	438
7	16.7%	30	5.6%	2	0	28
7	16.7%	16	3.0%	2	0	14
0	0.0%	11	2.1%	0	0	11
0	0.0%	3	0.6%	0	0	3
28	66.7%	444	83.5%	22	12	410
42	100%	532	100%	24	12	496

薬価削除予定品目：「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況（既に薬価削除の承認が得られている状況）
「限定出荷」や「供給停止」にあるものは他の品目とは状況が異なるため、製造販売業者の「出荷対応」の状況では分けて集計

今後の日薬連「供給状況調査」の調査項目（3）

※主な変更・追加

○報告日／情報更新日

最初に報告した日、もしくは情報を更新した日付を品目ごとに具体的に記載（例：2024年3月10日）

○当月掲載情報確認済み

今回の提出にあたって製造販売業者として記載内容を確認したことを示す「○」を選択

○「限定出荷／供給停止の理由」で「1. 需要増」、「8. その他の理由」を選択した場合の理由（非公開）

- ・ 製造キャパシティ : 製造能力が限られる。
- ・ 採算性 : 製造原価、薬価等の点で採算性が厳しい。
- ・ 医療上の優先度判断 : 製造上の優先度が下がっていると判断している
(より医療上の必要性が高い品目（安定確保医薬品等）への対応を優先して実施している)。
- ・ 需要減 : 市場での需要が減少し、販売数量が減少している
(供給停止の場合のみ選択可。限定出荷の場合は選択不可)。
- ・ その他 : 上記のいずれでもない理由

※複数選択可、当てはまるものすべてに○

※需要減は需要増の場合選択不可（理由として矛盾するため）

※選択した理由については、非公開であり、回答内容は当局（及び集計委託業者）のみが扱い、匿名化された集計情報とした上で公表します。供給不安解消に向けた対策を検討するための重要な情報ですので実態通りご回答いただきますようお願い致します。

○上記の理由について具体的に記入（その他についても具体的に記入）（非公開）

○薬価基準収載品目削除願の提出年月（非公開）／その他、製販として記載したいことを記載（非公開）

厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（1）

当該品目の基本情報

	① 薬剤 区分 ★1	② 薬効分類 (保険薬 収載時点の 薬効分類を 記載)	③ 成分名	④ 規格 単位 ※全角	⑤ YJコード	⑥ 品名 (承認書に 記載の正式 名称) ※全角	⑦ 製造 販売 会社 名	⑧ 製品 区分 ★2	⑨ 基礎的 医薬品 ★3	⑩ 安定 確保 医薬 品 ★4	⑪ 薬価 収載 年月 日 ★5
記載例	内用薬	▲▲▲	■ ■ ■	▲mg 1錠	1234567 A1234	■ ■ ■錠 ▲mg 「● ●」	● ●	後発 品	基礎的 医薬品	安定 確保 医薬 品C	2020 /6/18
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (非公表)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかける調査」	○ (公開)	—	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	—

- ★1 内用薬、注射薬、外用薬のいずれかをプルダウンより選択
- ★2 先発品、長期収載品、準先発品、後発品、その他医薬品のいずれかをプルダウンより選択
- ★3 基礎的医薬品の場合、基礎的医薬品をプルダウンより選択
- ★4 安定確保医薬品の場合、安定確保医薬品A、安定確保医薬品B、安定確保医薬品Cのいずれかをプルダウンより選択
- ★5 名称変更等で改めて薬価収載をしている場合、一番最初の薬価収載年月日を記入（日薬連調査では記入不要）

厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（2）

当該品目の供給状況

	⑫ 製造販売業者 の「出荷対応」 の状況★6	⑬ 限定出荷／ 供給停止 の理由★7	⑭ 限定出荷の 解除見込み／ 供給停止の 解消見込み ★8	⑮ 限定出荷の解除 見込み時期／ 供給停止の解消 見込み時期／ 販売中止品の 在庫消尽時期	⑯ 製造販売業者の 「出荷量」の状況 ★9	⑰ 報告日／ 情報更新日 ★10
記載例	③限定出荷 (他社品の影響)	1.需要増	ア.あり	2024/10/1	A:出荷量通常	2024/5/1
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)

★6 ①～⑤のいずれかをプルダウンより選択

①通常出荷 ②限定出荷（自社の事情） ③限定出荷（他社品の影響） ④限定出荷（その他） ⑤供給停止

★7 1～8のいずれかをプルダウンより選択

1.需要増 2.原材料調達上の問題 3.製造トラブル（製造委託を含む） 4.品質トラブル（製造委託を含む）
5.行政処分（製造委託を含む） 6.薬価削除 7.- 8.その他の理由

★8 ア～エのいずれかをプルダウンより選択

ア.あり イ.なし ウ.未定 エ.-

★9 Aプラス、A、B、C、Dのいずれかをプルダウンより選択

Aプラス:出荷量増加 A:出荷量通常 B:出荷量減少 C:出荷停止 D:薬価削除予定

★10 最初に報告した日、もしくは情報を更新した日を品目ごとに具体的に記載

厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（3）

当該品目の供給状況

	⑱ 当月掲載 情報確認 済み	⑲⑬の「限定 出荷／供給 停止の理由 が他社の影響 等による場合、 原因となった 医薬品名 (非公開)	⑳ ⑯の『製造 販売業者の 「出荷量 」の状況』 の根拠と なる数量 ★11 (非公開)	㉑ 市場 シェア (非公開)	㉒ 同成分での 代替薬 (非公開)	㉓ 他成分での 代替薬 (非公開)	㉔ 代替薬 製販企業との 調整状況 (非公開)
記載例	○	■ ■ ■錠 ▲mg 「◆◆」	● ● %	10.00%	● ■ ■ ■錠 ▲mg 「◆◆」	● ■ ■ ■薬 ● ● ●薬	● ■ ■ ■薬については、 製造販売企業に協力 依頼済み・了承済み (4/16)
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	—	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (公開)	—	—	—	—	—	—

★11 予定出荷量／（比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量）×100で算出

厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（４）

当該品目の供給状況

	②⑤ 学会、 医療関係 団体との 調整状況 (非公開)	②⑥ 審査課、 監麻課 との 調整状況 (非公開)	②⑦ ⑬の「限定出荷／供給停止の理由」で「1.需要増」 「8.その他の理由」を選択した場合の理由 ★12 (非公開)					②⑧ ②⑦の理由について 具体的に記入 (その他についても 具体的に記入) (非公開)
			製造 キャパ シティ	採算性	医療上の 優先度 判断	需要減	その他	
記載例	・★★学会に 説明予定 (4/18)		○					●●
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	—	—	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)

★12 複数選択可、当てはまるものすべてに○

- ・製造キャパシティ：製造能力に限られる。
- ・採算性：製造原価、薬価等の点で採算性が厳しい。
- ・医療上の優先度判断：製造上の優先度が下がっていると判断している（より医療上の必要性が高い品目（安定確保医薬品等）への対応を優先して実施している）。
- ・需要減：市場での需要が減少し、販売数量が減少している（供給停止の場合のみ選択可。限定出荷の場合は選択不可）。
- ・その他：上記のいずれでもない理由

厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（5）

当該品目の供給状況

	⑳ 薬価基準収載品目削除願の提出年月 ／その他、製販として記載したいことを記載 (非公開)	報告企業担当者連絡先(非公開)			備考 (非公開)
		担当者名	電話番号	メールアドレス	
記載例	2023/6/4	● ● ● ●	XX-XXXX-XXXX	XXX@ XXX.co.jp	
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (非公開)	—	—	—	—

厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の運用

	実施主体	報告／調査 頻度	対象品目	報告／調査 提出先	公表	備考
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	厚労省 産情課	随時	供給不足が生じ、 出荷状況の変更 (限定出荷等) が生じた品目※1	厚労省 産情課	※3	
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	日薬連 〔厚労省産情課 と連携〕	月1回 (月末)	すべての 医療用医薬品	厚労省が 委託する 事業者※2	月1回 〔翌月 中旬〕	調査は一定の 移行期間まで 継続

※1 供給不足が解消して「通常出荷」となった品目も引き続き厚労省ホームページ上に掲載

※2 日薬連傘下団体に所属されていない製造販売企業様への日薬連「医薬品供給状況にかかる調査」の依頼・提出は、引き続き、厚労省が委託する事業者を通じて実施

※3 検討中

お願い／問い合わせ先

お願い／問い合わせ先

令和4年1月25日付厚生労働省医政局経済課長通知（医政経発0125第1号「医療用医薬品の供給不足に係る対応について」の別添1に係る医薬品の供給状況の調査について（調査協力依頼））において、製造販売業者は自社が有する承認品目の供給状況について各社のウェブサイト等で公表し、その旨を日薬連に報告するよう要請されております。また日薬連はそれらの情報をとりまとめ公表するよう要請されておりますので、あらためまして、全ての製造販売企業様に調査へのご協力をお願い致します。

- －併売品目（銘柄）や企業グループとして販売している品目（銘柄）につきましては、製造販売承認を取得されている企業様が代表しご回答下さい。
- －子会社を有する場合、自社の子会社からも期限内に適切な回答が提出されるようご配慮をお願い致します。
- －回答の際は回答手順に沿って該当する品目の全ての調査項目について矛盾なくご回答いただきますようお願い致します。
- －「限定出荷の解除見込み／供給停止の解消見込み」では「未定」が非常に多い状況です。十分な検討をお願い致します。
- －調査は厚生労働省と連携して実施しております。
回答は厚生労働省が委託する事業者にご提出下さい（注：4月から委託事業者変更予定）。

調査内容全般についての問合せ先

日本製薬団体連合会 担当：沼澤

TEL：03-3527-3154（受付時間 10:00～17:00、土日・祝日を除く）

E-Mail：survey220603@fpmaj.gr.jp

引き続き、ご協力宜しくお願い致します